

TE-1907 クラシカルレコードプレーヤー

はじめに

この度はクラシカルレコードプレーヤーTE-1907をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

※この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

※本取扱説明書には保証書が付属していますので大切に保管して下さい。

※付属品をお確かめ下さい。

◆ 目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 安全上のご注意 及び ご使用にあたってのお願い | 2-4 |
| 主な特長 及び 付属品 | 4 |
| 各部の名称 | 5 |
| ご使用になる前に | 6 |
| 電源を接続する | 7 |
| レコード針の交換 | 7 |
| レコードを聴く | 8 |
| ブルートゥース接続と操作 | 9 |
| USBメモリー/TF(microSD)カードの再生と操作 | 10-11 |
| 外部機器との接続 | 12 |
| FMラジオを聴く | 13 |
| USBメモリー/TF(microSD)カードに録音 | 13-14 |
| 製品仕様 | 15 |
| 保証書 | 16 |







安全上のご注意









- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

絵表示について この取り扱い説明書には、使用者が製品を安全にお使いいただき、理解し易い様に 色々な絵表示を使用しています。誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守って下さい。




絵表示の例

| | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損傷の発生が想定される内容を示しています。 |
|  | 分解禁止 | この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。 |
|  | | この記号は、使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜く)が描かれています。 |

警告

| | | | |
|---|---|---|--|
|  | 交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 |  | 本機に水をかけたり、濡らしたり、また本機の上に水などの入った容器や小さな金属物をおかないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 |
|  | 本機を落とすなどして破損した場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。 * そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼下さい。ご自身での修理は危険ですので、絶対にお止め下さい。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。 |  | 電源コードやプラグを破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりしないで下さい。 また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 * コードやプラグの修理は販売店にご相談下さい。 |
|  | 雷が鳴っている時は、絶対にAC電源プラグに触れないで下さい。 * 感電の原因となります。 |  | ぬれた手で電源プラグを抜いたり差したりしないで下さい。 * 感電の原因となります。 |
|  | 絶対に分解したり・修理・改造は行わないで下さい。 (キャビネットも外さないで下さい) * 火災・感電の原因となります。 販売店で点検・整備・修理をご依頼下さい。 |  | 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、落としたりしないで下さい。 * 火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。 |

警告

| | |
|--|--|
|  <p>注意</p> <p>変な臭いや音がしたり、煙が出たらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて下さい。</p> <p>*そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼下さい。ご自身での修理は危険ですので、絶対におやめ下さい。</p> |  <p>注意</p> <p>本機の中に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源コンセントから本体の電源プラグを抜いて下さい。</p> <p>*そのまま使用すると、火災、感電の原因となりますので、販売店にご相談下さい。</p> |
|  <p>指示</p> <p>電源プラグのほこりや汚れを定期的に乾いた布でふき取って下さい。</p> <p>*プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁劣化となり、火災の原因となります。</p> | |

注意

| | |
|--|--|
|  <p>注意</p> <p>電源プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。</p> <p>*差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <p>*抜く時は、コードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いて下さい。</p> |  <p>禁止</p> <p>本機に布などを被せないで下さい。</p> <p>*内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、ご注意下さい。</p> <p>*テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないで下さい。</p> <p>*本機を押入れなどの風通しの悪い狭いところで使用しないで下さい。</p> |
|  <p>注意</p> <p>効果的な放熱の為に、他の機器との間は少し離して置いて下さい。</p> <p>*間隔が不十分ですと、火災・故障の原因となります。ラック等に設置する時は、本機の前後左右天面から15cm以上のすきまを空けて下さい。</p> |  <p>禁止</p> <p>直射日光が当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かないで下さい。</p> <p>*キャビネットや部品の故障の原因となったり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。</p> |
|  <p><small>電源プラグをコンセントから抜く</small></p> <p>本機を移動する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、外部接続コードをはずして下さい。</p> <p>*感電の原因となります。</p> |  <p><small>電源プラグをコンセントから抜く</small></p> <p>お手入れの際は、安全の為、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いて下さい。</p> <p>*感電の原因となります。</p> |
|  <p><small>電源プラグをコンセントから抜く</small></p> <p>長時間使わないときは、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。</p> <p>*火災の原因となることがあります。</p> |  <p><small>電源プラグをコンセントから抜く</small></p> <p>各機器との接続のときは、必ず電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、取扱説明書に従って接続して下さい。</p> <p>それぞれの機器の取扱説明書をよく読み指定のコードを使用して接続して下さい。</p> |
|  <p>禁止</p> <p>振動する場所やぐらつく台の上、傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。</p> <p>*倒れたり、落ちたりして怪我の原因となります。</p> |  <p>禁止</p> <p>湿気や埃の多い場所には置かないで下さい。</p> <p>*火災や感電の原因となります。</p> |

ご使用にあたってのお願い

■必ずお守り下さい。

左右及び天面、後面の間隔は15cm程度空け、通気の良いところに置いて下さい。
熱がこもる状態で使用されますと、保護回路が働き音声レベルが下がったり、
内部部品が破損する恐れがあり危険です。

定期的に内部の掃除が必要です。

本機のお操作盤に埃がたまったら長時間使用しますと、火災や故障の原因になることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期前に行うと、より効果的です。

- 本機は民生用の音楽などを再生する目的で設計されております。
従って信号発生器や音楽以外のデータが記録されたUSBメモリー/TF(microSD)カード等を使用しますと、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因となる事があります。
- オーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。
本機は民生用のオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。
業務用オーディオインターフェース機器との接続は本機の故障の原因となるばかりでなく、
スピーカーを傷める原因となる事があります。
- ブラウン管式のテレビ等にスピーカーを近づけますと、映像がスピーカーとテレビ等の
内部にある永久磁石の影響でゆがんだり、画面の色がにじむ場合があります。
十分に間隔を取る様にして下さい。
- 本製品の再生中に製品本体の近くで携帯電話などをご利用になりますとその電波により雑音が発生する場合があります。
雑音が発生する場合は携帯電話などを本機から離してご利用下さい。
故障ではありません。

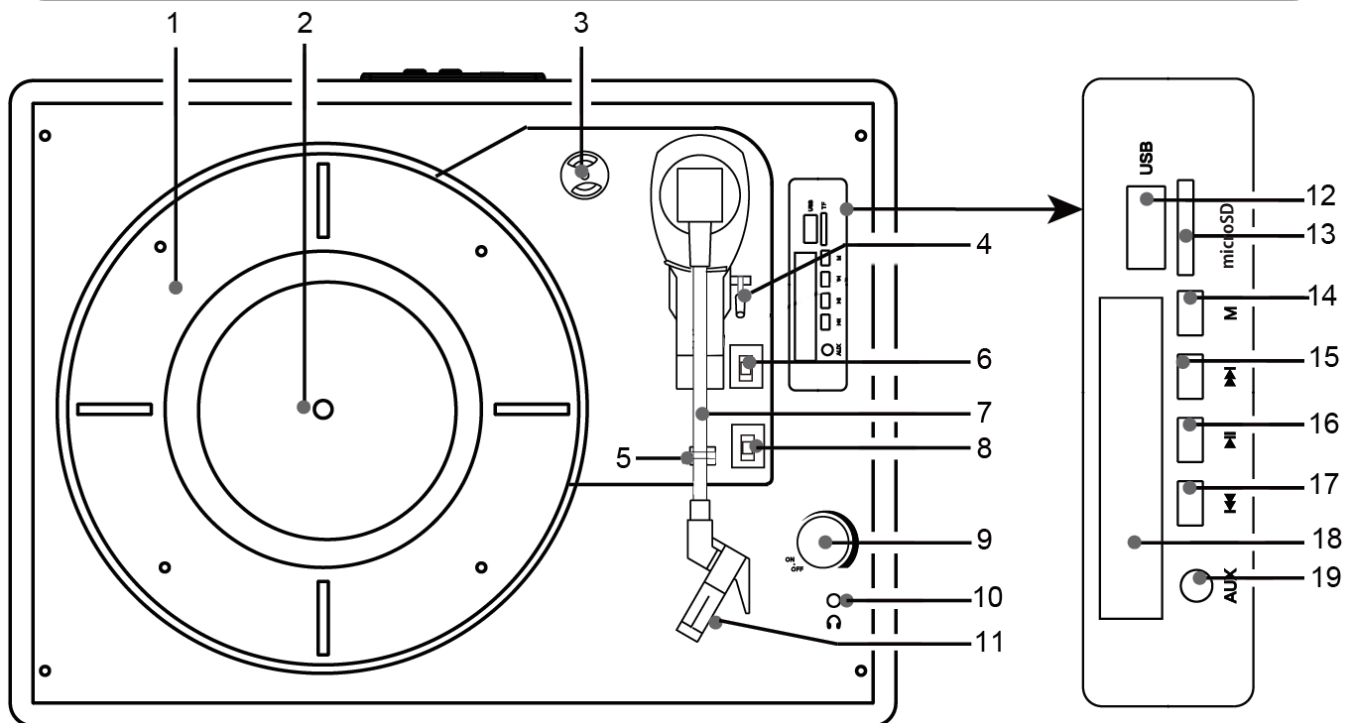
主な特長

- 持ち運びに便利なトランクケース式
- 3スピード(33 $\frac{1}{3}$ 、45、78回転)切り替え、オートストップ機能付レコードプレーヤー
- Bluetooth接続で、外部スピーカーとして使用可能
- レコードからUSBメモリー/TF(microSD)カードへの簡単録音 (WAV形式音楽にダイレクト変換/録音機能)
- 外部機器接続用 AUX-IN/RCA端子
- USBメモリー/TF(microSD)カードの再生 (WAV/MP3音楽ファイル再生)
- FMラジオの再生

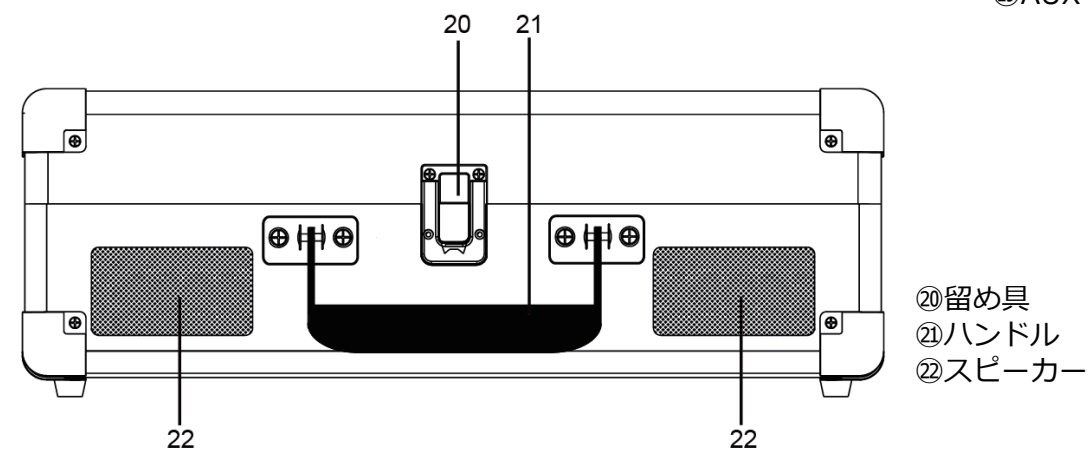
付属品

- AC/DCアダプター(本機専用、他の機器には使用できません)
- 取扱説明書(保証書付)
- EPアダプター

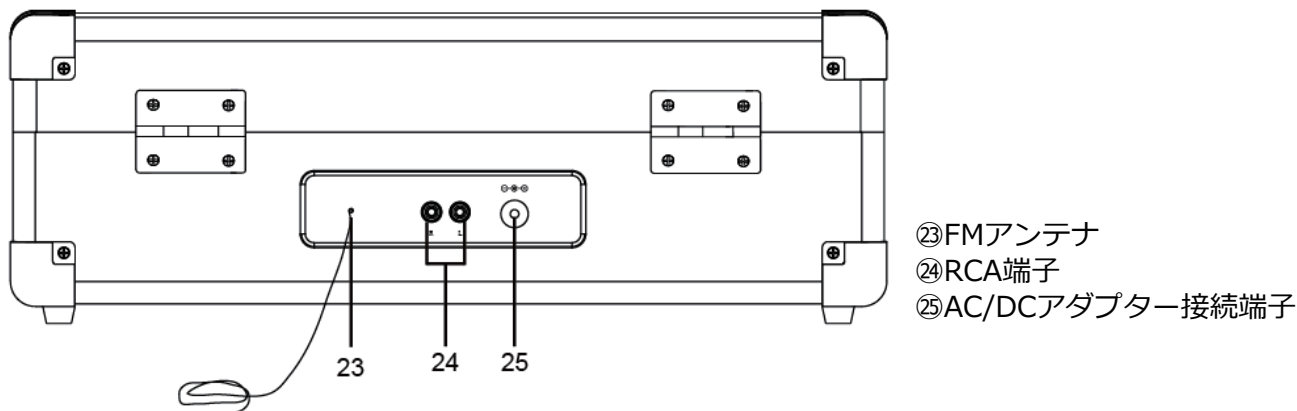
各部の名称



- | | | |
|---------------|--------------------|-------------------|
| ①ターンテーブル | ⑦トーンアーム | ⑫USB端子 |
| ②ターンテーブルスピンドル | ⑧オートストップON/OFFスイッチ | ⑬TF(microSD)カード端子 |
| ③EPアダプター | ⑨電源ON/OFF/音量つまみ | ⑭モード切替/録音ボタン |
| ④トーンアームリフトレバー | ⑩ヘッドホン端子 | ⑮次曲に移動/FM番組切替ボタン |
| ⑤トーンアームホルダー | ⑪カートリッジ | ⑯一時停止/再生/DELボタン |
| ⑥回転速度切替スイッチ | | ⑰前曲に移動/FM番組切替ボタン |
| | | ⑱LEDディスプレイ |
| | | ⑲AUX-IN(オーディオ入力) |



- ⑳留め具
- ㉑ハンドル
- ㉒スピーカー



- ㉓FMアンテナ
- ㉔RCA端子
- ㉕AC/DCアダプター接続端子

ご使用になる前に

■ 設置

本体を水平で、安定する場所に設置して下さい。

- * 水平に設置しない場合、ターンテーブルの回転に影響を受ける場合があります。
- * 外部からの振動の影響を受けない場所に設置下さい。
レコード再生中に外部からのわずかな振動の影響で、レコード針がレコードの溝を飛び越してしまう事があります。

■ レコードについて

- * ひびやそりのあるレコードは絶対に使用しないでください。
針の極端な摩耗や、破壊の原因になります。
- * スクラッチ等の通常と違う再生方法を絶対にしないでください。
本機はその様な再生には対応していません。
- * 直射日光や高温多湿の場所に置かないでください。そりや変形の原因になります。
- * レコードを持つ時は、ラベル部あるいは、外周部分のみをお持ちください。
レコード溝には絶対に触らないでください。埃や指紋は音のひずみの原因となります。
- * レコードの手入れ
レコード専用のクリーナーとクリーナー液(別売)を使用してください。
レコードクリーナーはレコード溝に沿って円を描く様に拭き取ります。

■ 本機で使用可能なUSBメモリー/TF(microSD)カードについて

- * 本機で再生可能なファイル形式はWAV/MP3形式(拡張子が.wav/.mp3)のみになります。
- * USBハブには対応しておりません。
- * 著作権保護機能、セキュリティー対応USBメモリーはご利用頂けません。
- * 容量の大きいUSBメモリー/TF(microSD)カードを接続した際、読み込みに時間がかかることがあります。
- * 本機の「⑩一時停止/再生/DELボタン」を長押しすると、USBメモリー/TF(microSD)カード内に記録されたファイルを一曲ずつ消去します。
- * 「⑩一時停止/再生/DELボタン」により不本意にファイルが消滅されるのを防ぐ為、予めファイルのバックアップを取っておく事をお勧めします。
- * 一部の音源ファイルに関しましては、音源元のコピープロテクトにより正常に再生出来ない場合がございます。
- * DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

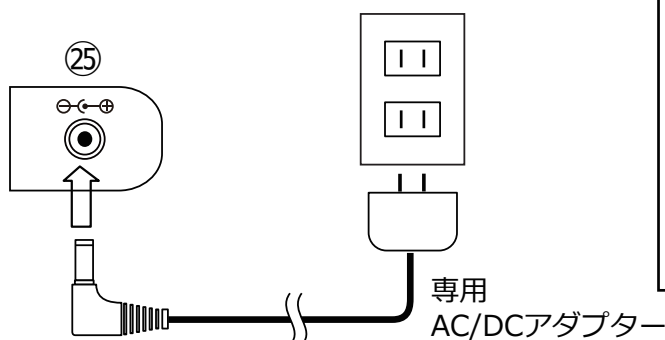
■ ブルートゥースについて

- * 本機採用のブルートゥース機器は無線LAN機器(IEEE802.11b/g/n)と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに干渉して通信速度低下や接続不能になる事があります。
この場合は、出来るだけ離して(10m程度)使用してください。
- * 全てのブルートゥース機器との接続を保証するものではありません。
また、条件によっては接続に時間がかかる場合があります。
- * 同時接続台数と記憶可能ペアリング台数はそれぞれ1台のみとなります。
- * 通信距離は、約10m程度ですが、周囲の環境により変わる事があります。
また、お使いの機器によっては接続できない場合もあります。
- * 本機は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明を受けております。
改造などすると電波法に抵触しますので、絶対に改造を行わない様をお願いします。

電源を接続する

本体と付属のAC/DCアダプターの接続

1. 付属のAC/DCアダプターのプラグを本体「㊸電源端子」に、片側のAC/DCアダプター本体を100V電源コンセントにそれぞれ差し込みます。
2. 「㊹電源ON/OFF/音量つまみ」を時計回りに回して電源を入れ、音量を合わせます。
「-PHO」とディスプレイに表示されます。



警告

- ※水のかかる場所で使用する時は、AC/DCアダプターを使用しないでください。
- ※AC/DCアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。
 - ・交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因になります。
- ※ぬれた手でAC/DCアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ※付属のAC/DCアダプター以外は使用しないでください。付属以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
- ※通電中、AC/DCアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ※持ち運ぶときは、AC/DCアダプターを抜き、温度が下がってから行ってください。

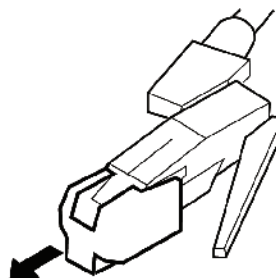
レコード針の交換

レコード針の耐久時間は使用されるレコードの状態にも影響されますが、約20-30時間程度です。

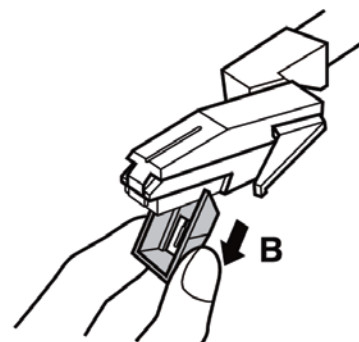
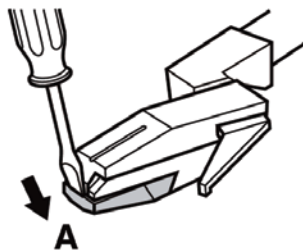
再生時音割れやノイズが出てきた場合はレコード針を新品に交換下さい。

レコード針の外し方

1. 白いカートリッジカバーを正面手前にひっぱり、カートリッジからはずします。



2. 正面に向いているカートリッジの赤い部分(レコード針)頭部とカートリッジ本体(黒色)との境目(画像A)に、小さなマイナスドライバーを入れて下に押し下げます。(画像B)



レコード針の取り付け方

新しい針を取り付ける際は、取りはずしと逆の順番で、針の後ろ部分をカートリッジに向け、下側からカートリッジに差し込み押し上げて取り付けます。

レコードを聴く

レコードの再生

※ご使用前に「①ターンテーブル」を時計回りに10回程手で回し、ベルトずれや、よじれ等が無いかなの為確認してください。

1. 本機「⑨電源ON/OFF/音量つまみ」を回し、電源を入れます。
2. USBやTF(microSD)カードを挿している場合は、本機「⑭モード切替/録音ボタン」を押し「-PHO」に設定します。
3. 再生するレコードの回転数に、「⑥回転速度切替スイッチ」を合わせます。
4. 「⑧オートストップON/OFFスイッチ」を「ON」の位置に設定します。
(この機能の動作に関しては、以下を参照してください)
5. レコードを「①ターンテーブル」に載せます。
(ドーナツ盤の時は付属の「③EPアダプター」を先に「②ターンテーブルスピンドル」にはめておきます)
※「①ターンテーブル」に載せるレコードは、必ず1枚のみにします。
※新品開封時は、「⑤トーンアームホルダー」部分のソフトワイヤー針金を外してください。
6. 「⑪カートリッジ」部分の白いカバーを外します。(7ページ目参照)
7. 「⑤トーンアームホルダー」を右側に倒します。
8. 「④トーンアームリフトレバー」を本体奥側に倒します。
※「⑦トーンアーム」が浮いた状態になります。
9. 「⑦トーンアーム」に指をかけて、再生したいレコードの溝の上に移動させます。
※「⑦トーンアーム」を移動させると自動的に回転が始まります。
10. 「④トーンアームリフトレバー」を本体手前側に倒します。
「⑦トーンアーム」が下がり、音楽再生を始めます。

■オートストップ機能について

「⑧オートストップON/OFFスイッチ」を「ON」に設定した場合、最後の曲の再生が終了すると、自動で「①ターンテーブル」の回転がストップします。ストップした後は、「④トーンアームリフトレバー」を本体奥側に倒してから、手動で「⑦トーンアーム」を元の場所に戻します。

ご注意とお願い

レコード盤によっては、最後の曲の再生が終了する前にオートストップする場合があります。その場合は、このスイッチを「OFF」にして再生してください。

しかし、最後の再生が終わっても「オートストップOFF」の状態ですので、自動で停止はしませんので、ご注意ください。

また、レコード盤によっては、オートストップが効かない場合があります。

その場合も、このスイッチを「OFF」にして再生してください。

その際「⑦トーンアーム」を元の場所に戻しても、「①ターンテーブル」は回転していますので「⑧オートストップON/OFFスイッチ」を「ON」にして、停止させます。

※ご注意とお願い

ターンテーブルユニットは、モーターの振動をケースに伝えないように、スプリング・マウント構造が採用されており、少し浮いた状態で本体に取り付けられています。不良ではございませんので、予めご了承ください。

Bluetooth接続と操作

1. 「⑦トーンアーム」を「⑤トーンアームホルダー」で固定しておきます。
2. 本機「⑭モード切替/録音ボタン」を押し、「bt」に設定します。
※ロード中はディスプレイに「Lod」と表示されます。
3. Bluetooth搭載の外部機器で「Bluetooth」を「入」に設定すると、外部機器の検索を開始 ⇒ 本機の製品名「CICONIA TE-1907」が外部機器に表示 ⇒ 外部機器の「接続許可」を「入」にします。
※パスコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
4. 本機との接続が完了すると、本機から短い接続音が聞こえ、接続完了を知らせます。
5. 接続後は外部機器で音楽再生を開始すると、本機のスピーカーで音楽が流れます。
6. 外部機器または本機の「⑨電源ON/OFF/音量つまみ」で音量を調整します。
7. 接続を終了すると、切断を意味する短い音の本機から聞こえます。

■接続後の操作

本機の「⑮次曲に移動/FM番組切替ボタン」「⑯一時停止/再生/DELボタン」「⑰前曲に移動/FM番組切替ボタン」で外部機器の音楽再生の操作が可能です。

■ご注意とお願い

- ※AUX-IN(オーディオ入力)とUSBメモリー/TF(microSD)カード再生が優先されます。外部機器接続用端子「⑱AUX-IN(オーディオ入力)」に接続ケーブルや、USBメモリー/TF(microSD)カードが差し込まれていると、こちらの接続が優先され、Bluetooth接続音は聞こえませんが、注意して下さい。
- ※既に他の外部機器に接続されたままの状態ですと、新たに接続する外部機器には接続できませんので、その場合は他の外部機器とのBluetooth接続を切断してください。
- ※Bluetooth接続可能距離は 10m 程度までですので、それ以上離れるとノイズが出たり音が途切れる事があります。

USB/TF(microSD)カードの再生と操作

■再生可能ファイルはWAV/MP3形式のみ

⚠ 記録状態により音飛びや
注意 再生できない場合があります。

■対応 ビットレート：8K-448Kbps
サンプリング周波数：8K、11.025K、12K、16K、22.05K、32K、48K

■推奨USBメモリー

規格：2.0(480Mbps)
容量：32GBまで

■メーカーで動作確認済みのUSBメモリー

ELECOM MF-HSU2(16GB)
SunDisk SDCZ60(16GB)
SunDisk SDCZ48(32GB)
KIOXIA LU202W016GG4(16GB)

※USBメモリーによりましては、生産ロットにより部品が異なる場合等もございますため
動作保証をお約束するものではありません。(参考情報としての掲載となります)

※本機は録音機能を搭載しているため、暗号化、著作権保護機能、
セキュリティー対応USBメモリーはご利用頂けません。

USBメモリー/TF(microSD)カードの挿入

1. 「⑦トーンアーム」を「⑤トーンアームホルダー」で固定しておきます。
2. USBメモリー/TF(microSD)カードを挿入し数秒待つと、ディスプレイに「Lod」と表示されたあと、「USB」または「TF」が表示され、音楽の再生が始まります。
(下記画像参照)



再生中は、トラックナンバー、ALL、秒数が繰り返し表示されます。
(他の機能は自動的に停止されます)

※USBメモリー/TF(microSD)カード内にデータが入っていない場合は、自動的に
「-PHO」と表示されます。

3. 最後の曲の再生が終わると、自動的に一番最初の曲から再生が始まります。

※正常に再生されない場合は、パソコンでUSB/TF(microSD)内のデータを確認して
ください。

フォルダを作成せず、すべての音楽データをUSB/TF(microSD)カードの直下
(最上位階層)に保存し直してください。

■再生後の操作

本機の「⑮次曲に移動/FM番組切替ボタン」「⑯一時停止/再生/DELボタン」
「⑰前曲に移動/FM番組切替ボタン」で操作が可能です。

イコライザー機能

USBメモリー/TF(microSD)カードの再生中、⑭モード切替/録音ボタンを長押しする度に、ディスプレイに「rOC」「POP」「CLA」「JAZ」「COU」「NOr」と表示され、それぞれ音質が変わります。

| 表示 | 意味 |
|-----|-------|
| rOC | ロック |
| POP | ポップ |
| CLA | クラシック |
| JAZ | ジャズ |
| COU | カントリー |
| NOr | ノーマル |

■ご注意とお願い

本機のUSB端子は充電用ではありませんので、他外部機器への充電はお止めください。仮に充電可能に見える場合でも、本機の電源等に悪影響、あるいは破損につながる可能性がありますので、絶対にお止めください。

※稀にUSBメモリー/TF(microSD)カードの種類や録音音源によっては、本機で再生できない場合がございます。

一部の音源ファイルに関しましては、音源元のコピープロテクトにより正常に再生出来ない場合がございます。(例：PCからの著作権保護がある音源複製など)

外部機器との接続

本機には「AUX-IN端子」「RCA端子」「ヘッドホン端子」が搭載されています。外部機器と接続し、本機を外付けスピーカーとして使用したり、また本機の音を外部機器で聴く事が可能です。

外付けスピーカーとして使用

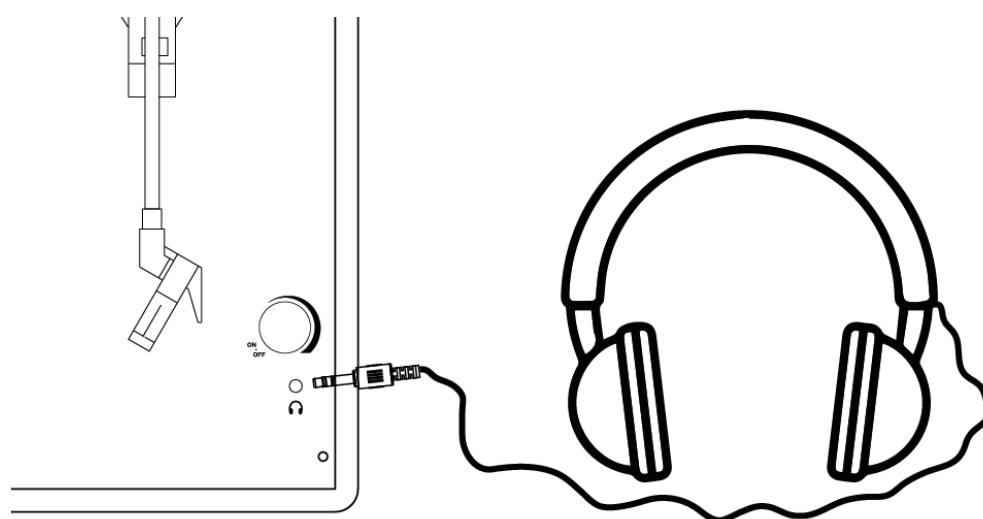
1. φ3.5mmミニプラグオーディオケーブル(別売)を「⑩AUX-IN(オーディオ入力)」に挿入します。
2. 本機の「⑭モード切替/録音ボタン」を押し、LINEモードに設定します。(ディスプレイに「LINE」と表示されます)
3. ケーブルの片方を接続したい外部機器のAUX-OUT(RCA端子)、またはヘッドホン端子に接続します。
4. 外部機器または本機の「⑨電源ON/OFF/音量つまみ」で音量を調整します。

本機の音を外部機器で聴く

1. RCAオーディオケーブル(別売)を「⑭RCA端子」に接続します。
2. ケーブルの片方を接続したい外部機器のAUX-IN(RCA端子)に接続します。
3. 外部機器または本機の「⑨電源ON/OFF/音量つまみ」で音量を調整します。

本機の音をヘッドホン/イヤホンで聴く

1. ヘッドホン/イヤホン(別売)を「⑩ヘッドホン端子」に接続します。
2. 本機の「⑨電源ON/OFF/音量つまみ」で音量を調整します。



FMラジオを聴く

1. 「⑦トーンアーム」を「⑤トーンアームホルダー」で固定しておきます。
2. 「⑭モード切替/録音ボタン」を押して、「FM」モードにします。
(ディスプレイに「FM」と表示されます)
3. 「⑲FMアンテナ」を伸ばして、音声がはっきり聞こえるように位置を調節します。
4. 「⑯一時停止/再生/DELボタン」を長押しすると、ラジオ局を自動検索します。
スキャンが終了すると、トラックはP01、P02、P03…として保存されます。
5. 「⑰前曲に移動/FM番組切替ボタン」または「⑱次曲に移動/FM番組切替ボタン」を押してラジオ局を選択します。

USB/TF(microSD)カードに録音

レコードの音源やFMラジオをUSBメモリー/TF(microSD)カードに録音する事が出来ます。

レコードの音源を録音

1. USBメモリー、またはTF(microSD)カードをスロットに挿入します。
2. 「⑭モード切替/録音ボタン」を押し、「-PHO」モードに設定します。
3. 本書8ページに記載の方法で、レコードの再生準備をします。
4. レコードの針を落とす前(無音時)に「⑭モード切替/録音ボタン」を長押しすると、「⑳LEDディスプレイ」に「rEc」と表示され、録音が始まります。
※録音中は「⑳LEDディスプレイ」の「REC、USB/TF」という文字が点滅します。
下記画像参照。



5. 録音を終了するには、同じく「⑭モード切替/録音ボタン」を長押しすると、「⑳LEDディスプレイ」に「StOP」と表示され録音が終了します。
6. 録音されたファイルは、パソコンで見た際、以下の様にUSBメモリー/TF(microSD)カード内に表示されます。
※WAV形式で録音されます。



JL_REC

ファイルフォルダー



下層フォルダー



FILE0001.WAV

(これが一曲の音楽ファイルとなります)

7. 1曲ごとに、上記の4~5を繰り返して、USBメモリー/TF(microSD)カードに録音します。
8. 録音後は、JL_RECフォルダからWAVファイルを出してください。

※正常に再生されない場合は、パソコンでUSB/TF(microSD)内のデータを確認してください。
フォルダを作成せず、すべての音楽データをUSB/TF(microSD)カードの直下(最上位階層)に保存し直してください。

FMラジオを録音

1. USBメモリー、またはTF(microSD)カードをスロットに挿入します。
2. 「⑭モード切替/録音ボタン」を押し、「FM」モードに設定します。
3. 本書13ページに記載の方法で、録音したいFMラジオ局を再生します。
4. FMラジオ再生中に「⑭モード切替/録音ボタン」を長押しすると、「⑮LEDディスプレイ」に「rEc」と表示され、録音が始まります。
※録音中は「⑮LEDディスプレイ」の「REC、USB/TF」という文字が点滅します。
下記画像参照。



5. 録音を終了するには、同じく「⑭モード切替/録音ボタン」を長押しすると、「⑮LEDディスプレイ」に「StOP」と表示され録音が終了します。
6. 録音されたファイルは、パソコンで見た際、以下の様にUSBメモリー/TF(microSD)カード内に表示されます。
※WAV形式で録音されます。



JL_REC

ファイルフォルダー



下層フォルダー



FILE0001.WAV

(これが一曲の音楽ファイルとなります)

7. 1曲ごとに、上記の4~5を繰り返して、USBメモリー/TF(microSD)カードに録音します。
8. 録音後は、JL_RECフォルダからWAVファイルを出してください。

※正常に再生されない場合は、パソコンでUSB/TF(microSD)内のデータを確認してください。

フォルダを作成せず、すべての音楽データをUSB/TF(microSD)カードの直下(最上位階層)に保存し直してください。

■ご注意とお願い

- * 使用するUSBメモリー/TF(microSD)カードには十分な空きがある事を確認して下さい。
- * 録音は1曲ごとに、開始と終了時それぞれ「⑭モード切替/録音ボタン」を押して下さい。
- * 本機には、自動的に曲を切り分けたりする機能はありません。
音の切れ目に関係なく、録音開始から終了までを1つのファイルとして録音されます。
(1曲ごとの個別データにはなりませんので、ご注意ください)
- * 録音している間は、絶対にUSBメモリー/TF(microSD)カードを取り外さないで下さい。
取り外しますと録音データが壊れたり、USBメモリー/TF(microSD)カードが故障する場合があります。
- * 本機ではフォルダー名やファイル名の入力できません。

USBメモリー/TF(microSD)カード内のデータを削除

1. USBメモリー/TF(microSD)カードを挿入します。
2. 削除したい曲を再生し、「⑯一時停止/再生/DELボタン」を長押しします。
3. 「⑮LEDディスプレイ」に「dEL」と表示され、現在再生中の音楽が削除されます。

■ご注意とお願い

※不本意にファイルが消去されるのを防ぐ為、予めファイルのバックアップを取っておくことをお勧めします。

製品仕様

| | | |
|------------------|--|--|
| スピーカー部 | 定格出力 | 5Wx2 |
| レコードプレーヤー部 | モーター | DCモーター |
| | ドライブ方式 | ベルトドライブ |
| | ターンテーブルスピード | 33 ¹ / ₃ 、45、78回転 |
| | カートリッジ | セラミック圧電方式 |
| | レコード針 | サファイヤレコード針 |
| USB/TF(microSD)部 | 再生可能フォーマット | WAV/MP3音楽再生 |
| | 録音形式 | WAV形式録音(Phonoモードのみ) |
| | 録音サンプリング周波数 | FMラジオ：32KHz AUX-IN/Phono：48KHz |
| | 録音ビットレート | 386Kbps |
| | 推奨USBメモリー 規格：2.0(480Mbps) 容量：32GBまで | |
| Bluetooth部 | バージョン | Ver.4.2 |
| | 対応プロファイル | A2DP |
| | 同時接続台数 | 1台 |
| ラジオ部 | FM | 76-108MHz |
| 基本仕様 | 端子 | 入力：AUX-IN(3.5mm径ミニプラグ) AC/DCアダプター接続端子 USB/TF(microSD)カード端子 |
| | | 出力：RCA端子(右：赤/左：白) ヘッドホン端子(3.5mm径ミニプラグ) |
| | 電源 | 入力：AC100V 50/60Hz 出力：DC5V 1A |
| | 寸法(mm) | 360(幅)×260(奥行)×125(高さ) |
| | 重量 | 約3.0kg |
| 付属品 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 取扱説明書(本書) ■ EPアダプター ■ AC/DCアダプター(本機専用、他の機器には使用できません) | |

※上記の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。